



秋年闘争スタート

生活改善、政治転換勝ち取る

青年も高齢者も、漁民・農民も立ち上がっている

「ワーキン グプアードで青年が、後期高齢者医療で高齢者が、燃油高騰で漁民・農民が危機突破のため立ち上がっている。公務員も

時短や非常勤職員の処遇改善など当面する要求と結合し、総決起して10月8日秋年闘争第1次中央行動(9月19日)は、この呼びかけにこたえ、総務省前昼休み集会、各府省前要求行動、決起集会、都内デモ行進を展



「ワーキン グプアードで青年が、後期高齢者医療で高齢者が、燃油高騰で漁民・農民が危機突破のため立ち上がっている。公務員も時短や非常勤職員の処遇改善など当面する要求と結合し、総決起して10月8日秋年闘争第1次中央行動(9月19日)は、この呼びかけにこたえ、総務省前昼休み集会、各府省前要求行動、決起集会、都内デモ行進を展

内部事務一元化

事務処理の切り分け見直す

「全税目フリー分担制」の到達時期明示なし

「全税目フリー分担制」による事務処理を基本とする内部事務一元化は、局幹部でさえ「5年10年かかっても上手くいかないのでは…」との声が上がっています。

管理者対象にした「導入研修」が始まる。そのうち、一元化の全署実施に向けた全国統一研修(導入研修)が始まっています。

「全税目フリー分担制」を二つの部署で一体的に処理することで、「事務の効率化を図ることが可能」「納税者利便性も向上」と繰り返し、「未経験事務に従事し、OJT

窓相 押しつけに固執、まったく見直さず

200項目の相談に対応せよ

問題の相談事務は見直しは全くなく、全国統一の対応を行うマニュアルを示したに過ぎません。そのマニュアルも、タックスアンサーのアクセス数上位200項目を税目別にまとめたもので、この範囲で対応せよ、というものです。

「分限解雇」反対、国民本位の年金制度拡充を、厚労省に対し、労働者派遣法の抜本的改正など働くルールの確立を要求しました。

また、無責任な政権投げすの福田内閣を糾弾するとともに、貧困と格差拡大、改憲の政治を転換する絶好のチャンスと、政治の民主的転換を掲げ奮闘する決意を固めました。

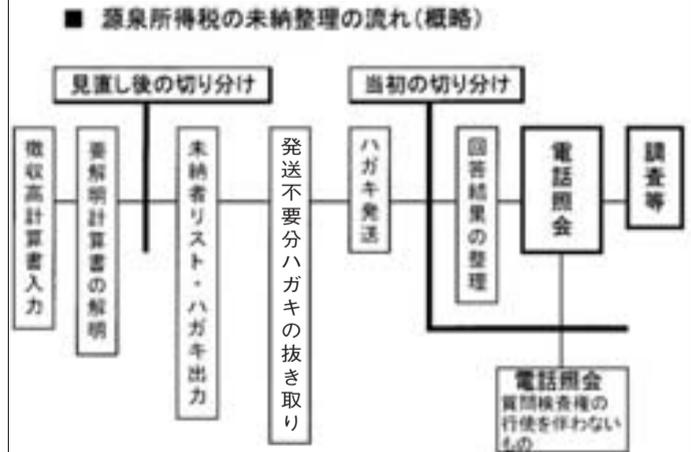
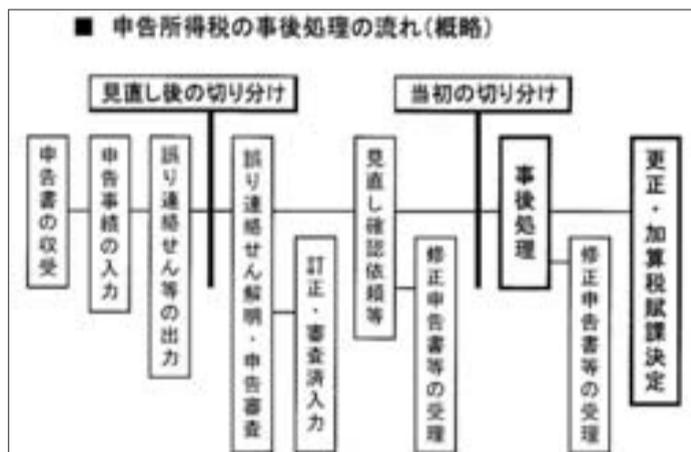
一元化の対象となる事務

一元化内部事務	
管理運営部門 (徴収官が処理)	
主な事務	
○ 窓口関係事務	申告書等用紙の交付、收受 納税証明書の申請受付、交付 現金領収 各税の制度、手続等に関する納税者からの相談(質問)への対応
○ 申告書等処理事務	申告書等の入力、補正 徴収決定・還付手続 督促状の発付
○ 納税者管理事務	転出入 各種届出書等の入力

「分限解雇」反対、国民本位の年金制度拡充を、厚労省に対し、労働者派遣法の抜本的改正など働くルールの確立を要求しました。

また、無責任な政権投げすの福田内閣を糾弾するとともに、貧困と格差拡大、改憲の政治を転換する絶好のチャンスと、政治の民主的転換を掲げ奮闘する決意を固めました。

また、無責任な政権投げすの福田内閣を糾弾するとともに、貧困と格差拡大、改憲の政治を転換する絶好のチャンスと、政治の民主的転換を掲げ奮闘する決意を固めました。



食の安全を守れ

農林水産省は、汚染米不正転売事件の全容を説明せよ!

9月19日、農水省に対し汚染米問題で緊急要請行動を行いました。午前中、この問題への対応責任をとって太田農水相が辞任したとのニュースも飛び込む中、同省前には、農民、業者、新婦人の会、国公労連等の労働者が集まりました。

詰将棋 (10分二段) 持駒 金銀

6	5	4	3	2	1
			金	銀	
			歩	歩	

「出題」九段 西村一義
中級クラス
(ヒント) 銀が働く形にする。

なんと書庫は5カ所に分散

簿書出し入れに1時間も費やす

庁舎・書庫の改善要求は職場アンケートでも常に上位を占めています。確申期には、ただでさえ狭い庁舎に大量の非常勤職員と派遣社員が加わり、人とPC端末や膨大な書類が密集した事務室と化しています。前長官は老朽化は「予想外」とコメントしましたが、それに加え、現場は狭さに泣かされています。いま全国税は、庁舎改善のための実態調査を行っており、現場から届いたその第1報を紹介します。

「東京局市川署」

とくに、が溢れ、個人情報記載の書類は通常期でも書類簡易な用紙庫に置いてある状況。

確申期中は、他事務系の書類を借用しているが、毎日の出し入れにそれぞれ30分以上かかる。6段以上重ねたコンテナを階をまたいで移動させるため、崩れて毎年若手職員がケガをしている。(昭45年築4階建、職員数170名、延床面積2642㎡)

狭い庁舎と書庫に泣かされています



書庫に積まれたコンテナの写真を示し長官を追及

「東京局市川署」

東京局管内の税務署建築年次順、建替有無の一覧

年次	署名	建替有無
1962	立川	予定
1962	青梅	
1963	京橋	
1963	大森	
1964	本所	
1964	江東西	予定
1964	甲府	
1965	世田谷	
1965	中野	
1965	王子	検討中
1965	練馬東	
1965	八王子	
1966	新宿	検討中
1966	荏原	
1966	杉並	検討中
1967	豊谷	
1967	荻窪	検討中
1967	江戸北	
1968	木更津	
1968	日本橋	
1968	四谷	検討中
1968	浅草	
1968	北沢	
1968	保土ヶ谷	
1968	藤沢	
1969	松戸	
1969	芝	
1969	小石川	予定
1969	江東東	
1969	豊島	検討中
1969	武蔵野	
1969	平塚	

別館はあるが狭い。個人課税の書庫は5カ所に分散され、3階事務室から地下2カ所の書庫に行かなければならない。また、5カ所とも開扉時のパワードや鍵も異なり煩雑になっている。(昭42年築、46・55年増築、変則的な地上3階建のため色分けしたテープを通路に貼った案内となっている、地下1階は書庫5、会議室、休養室として使用)

また、個人課税の簿書は本館1・2階の書庫及び別館1階2カ所に分散されており、使い勝手が悪い。(昭47年築で当時の職員98名、現在116名の職員が勤務中、延床面積1603㎡)

また、「耐火性のない書庫に簿書を保管してある」実態も寄せられています

築40年超は25署 建替予定等は7署

19日、「耐震診断結果の公表リスト」が伝達されましたが、東京局ではうち建替予定・検討中は25署が築40年超、階段、延床面積及び備考を記載したリストを提示とが判明しています。

8月末の国公労連大会で、全厚生労働組合の杉浦代議員は「安心年金つくり会の運動を全国に広げ、職員のいのちと雇用を守るために全力をあげる」と発言——その中でさまざま職場実態を告発しました。

同じ公務の職場で働く仲間として、けして他人事ではなく、連帯しともにたたかう気持ちも込めて、その要旨を紹介します。

ただ働きがまん延 振替休日「20週間」

いま、職場では、記録整備に向けて全力をあげています。平日は勤務時間を19時まで延長し、土日も開庁して相談に当たっています。しかし、体制が全く不十分なために、ただ働き残業がまん延し、健康破壊は深刻です。

人事院が4月に発表した、「平成18年度の長期病休者実態調査」では、社会保険庁は、3.5%と公務全体の1.7倍にもなり、特にメンタル系がその7割を占めるといふ事態となっています。

「国の責任による公的年金制度の確立と社保庁職員の雇用継続に全力を挙げる」と発言する杉浦代議員。



これも異常なことですが、休日出勤した場合8週間以内に振替休日を取得することになってますが、平日の異常な混雑を考え、休むこともできないケースが多発し、人事院も「20週間の範囲」での振替を認めざるを得ない事態にもなっています。

さらに、病気になる前に退職という悪循環に加え、廃止される組織でもあることから、公務員試験合格者からの採用希望はないため、民間からの「任期付職員」を募集する事態となっています。

身分保障や労働法理に反する「二重処分」

政府が7月に決定した日本年金機構の「当面の業務運営に関する基本計画」では、社保庁を解体して民間委託を拡大すること、職員採用は、民間から1000人も採用する一方で3000人超の職員を削減すること、機構発足後の「合理化」を前提に1400人の正規職員を有期雇用化すること、さらには、過去に懲戒処分歴のある職員は一律不採用とすることなどとなっています。特に、懲戒処分歴のある職員について、処分の内容や程度、理由の如何を問わず一律に不採用とすることは実質的な二重処分に等しく、公務員の身分保障や労働法理にも反する違法・不当なものであり断じて容認できるものではありません。

「国の責任で安心して暮らせる年金制度をつくる連絡会」を地方段階でも結成できるよう努力するとともに、法的対抗を検討しながら、不当な攻撃には断固たる措置をとっていきます。

2年で復権ありですか

【関信・新潟県支部】

一昨年9月、「局幹部で私的な海外旅行で利害関係者から役務の提供や飲食を受けた」として局は、懲戒処分を発表した。しかし、この不祥事について当局は、人事院の「懲戒処分の公表指針」を盾に内容を明らかにしなかった。

処分発表直後、不自然な時期に総務課付・前徴収部長が辞職をした。明らかにその当事者である。

「私的な海外旅行」は部門旅行だったとの情報が寄せられる。同伴者がいたはず。一昨年の定期異動を見ると前徴収部長と同じ部署にいた2人が左遷されている。今年の異動でその同伴者は、指定官職に発令された。

当時の職場の声は▼こんな処分が職員に示しがつのか。幹部には何時も処分が軽い。そして今回、▼2年で復権ありですか。それも指定官職ですよ。▼55歳以上は切り捨て、片や処分されても関係ない人事。真面目にやってくる6級ポストにもつけない▼2年もすれば誰も知らないと思っているなら毛

評しました。ナンバー1統括官のままのたらい回しに「やけ酒を呑んだ」と怒りの声が上がります。地方署では単身3年目、4年目に「がっかり」する管理職。在札の特官ポストに空きがなく、単身解消をするにも地方署から在札署へ入るポストがないと言われています。

新人人事評価制度も統括官クラスの管理職の心理に大きな影響を与えているようです。

「統括官はいやだ」と言う声も公然と上がっています。

「特昇しても給料は増えない。おまけに単身。広域で調査に走り回り：もついい」と閉塞感が職場に広がるのは当然の帰結です。

第一線で長年職務に精勤した管理職層に「もついい」と言わせる人事は失敗です。

「新人人事評価制度―自己PRのうまい奴が出世する?」

【東海・熱田分会】一部試行の該当署なので既に人事評価のリアルサルを経験したけれど、副署長が「どうしても、自己PRのうまい奴の人事評価が高くなる」と言っていた。黙々と仕事をこなす人を正しく評価する、というのが管理職のあるべき姿だ。

【北海道地連】「こんな人事は失敗 北海道地連」

お前もか「使い回し」に「使い捨て」

【中高年職員】

「北海道地連」

「船場の国税局 殿」

詰将棋

【解答】
 3二金△2三五▲2
 二金△同五▲3一銀△
 2三五▲3二銀不成△
 3四五▲3五金まで、9手詰。
 【解説】
 初手▲2三銀は△同五以下届きません。▲3二金から▲2二金捨てが好手順で、5手目▲3一銀から次の▲3二銀不成が決め手となる。